

## 公益財団法人第五福竜丸平和協会

### 平成26年度事業報告

平成26年4月1日～平成27年3月31日

本年度は2014年3月1日ビキニ水爆被災60周年の記念諸行事を引き継ぎ、連続市民講座の開催のほか種々の活動を行った。

#### 1. 公益目的事業

##### ア 展示、保存対策

当年度は、第五福竜丸展示館は定められた休館日を除き308日開館した。来館者総数は104,745人、うち団体見学数764団体30,179人で、小学校92校5,673人、中学校192校11,565人、高校59校1,750人、他の学校56校920人、その他団体365団体10,182人であった。

■海外からの来館者は下記の通りである。

- 4月6日 中国観光客 4名
- 5月6日 Dr. Andy Storey (国際平和ビューロー事務局員、ダブリン大学政治学)
- 5月9日 ロシア大使館員家族 9名
- 5月25日 フランス映画作家フィリップ・カリロマリン、島津洋一 (ジャーナリスト、元ジャパンプレス記者)
- 6月1日 デンマーク 1名
- 7月15日 Shi-Lin Loh (シンガポール、ハーバード大留学生)  
市民講座サポートの打合せ
- 7月18日 台湾から観光旅行で3名 蔡政博氏ほか
- 8月22日 英国のTVディレクターNigel Ashcroft
- 9月28日 インドネシア青年グループ (留学生) 8名
- 10月31日 故西脇安博士のご子息安文 (在米) 紀子夫妻及びご息女アリス西脇氏来館
- 12月7日 マーシャル諸島共和国より Michael Terlep (Republic of Marshall Islands History Preservation of Vice Chief Archaeologist)
- 12月10日 米国ジャーナリストピート・ビグロー氏ほか取材班3名

- 2月3日 フォトジャーナリスト Mark Edward Harris (大石さんへのインタビュー)
- 2月4日 Web ニュース取材、カメラマン等2名 (英文ウェブマガジン IGNITION)
- 2月19日 マーシャル諸島アイルック環礁被ばく者 Tempo Alfred (アイルック小学校校長)、Rosania Bennet (元国会職員)
- 2月26日 Keith Reimink (米国カメラマン)、Josh(米国カメラマン) 撮影のため来館
- 3月7日 ドイツ (ライプツィヒ) Swame Pelnitaule  
オランダ (アムステルダム) Janielce Stegeman

■特記事項

- 4月13日 故長田新氏のご子息来館
- 5月23日 日本建築家協会より展示館建物にたいし「25年賞」授与、川崎代表理事出席。
- 7月17日 金沢大学名誉教授田崎和江氏 (福竜丸の船体、ボンデン等の放射能検査に携わったことがある)
- 7月18日 元双葉町町長井戸川克隆氏来館
- 8月12日 元・船舶無線通信士労組岸本さん来館、多額の寄附をいただく。
- 8月26日 東部公園管理係長文山氏、管理維持係長梶原氏、阿出川氏、吉田氏と面談(川崎、安田)
- 8月28日 東工大の西脇展関係者来館。山崎正勝氏、広瀬茂久教授、亀井宏行教授ほか
- 9月23日 久保山忌、東京原水協「第五福竜丸のつどい」にて川崎代表理事講演。
- 9月25日 9月19日に開示された「厚労省資料」を入手。昨年11月に出された「外務省資料」も含む。2015年1月には関連する「水産庁資料」を入手 (共同通信より)。
- 10月1日 筑波大学文化財修復科松井教授、鈴木教授、河崎研究員、学生及び日塔評議員でエンジン、船体の点検を行う。
- 10月16日 創価学会平和委員会を通じて焼津市議尾石氏収集の第五福竜丸関連の資料の寄贈を受ける。
- 10月19日 厚労省の開示文書のこと高知から山下さん、和田さん、南海放送伊東さん、広島の高橋博子さん来館。
- 10月30日 緋国民楽派コンサートにてラッキードラゴン・クインテット演奏 (寺嶋陸也+クアルテット・エクセルシオ)

- 11月27日 南海放送・伊東ディレクター、ウッキープロダクション  
来館
- 2月1日 「船の科学館」小堀氏（学芸員）来館
- 3月16日 高知県室戸市で開催された初の県主催ビキニ元漁民の  
健康調査に市田学芸員が参加
- 3月26日 江東区ボランティアセンターの仲介で園芸ボランティ  
アの会が久保山碑周辺の植栽に来年度から協力

■行政庁等からの訪問等

- 5月8日 都庁建設局都市公園課、東部公園管理課維持係（阿出川  
氏）来館、断熱材と床の凹凸について視察（調査）
- 5月14日 都建設局、総務局の職員による園内視察で展示館にも立  
ち寄る
- 5月15日 オリンピックに関する都による公園視察
- 9月15日 東出入口・左側のL字鋼材落下あり
- 9月16日 東部公園に報告書提出  
午前中、東部公園管理課維持係阿出川氏、植物館榎本氏、  
落下場所を調査  
西側出入口を一時閉鎖することを検討
- 10月19日 展示館外壁のL字鉄棒をはずす作業（終日）
- 11月13日 厚労省健康局山本圭子課長補佐、中村洋心主査来館
- 11月18日 都の委託による建物検査
- 11月23日 外務省軍備管理軍縮課外務事務官小寺次郎氏来館
- 3月16日 夢の島熱帯植物館の呼掛けによる火災・防災訓練に参加

イ 企画展等

**第1回企画展**は5月3日から9月15日まで「第五福竜丸被ばく60  
年特別展 水爆の時代をたどる～所蔵資料から見える第五福竜丸  
の被ばく」

**特別展示** 8月16日～9月30日「被ばくの島マーシャルージョン  
アンジャインと小宮茂雄の交友録」

9月10日特別展示トーク・イベント「ジョンさんと小宮さんの歩み  
を語る」島田興生、澤田猛さん。

**特別展示** 9月14日～10月5日「久保山忌句会船員証作品と60  
年、久保山さん生誕100年記念作品」新俳句人連盟。

**第2回企画展**は、10月11日から12月10日まで、黒田征太郎「フクリュウマル展」

10月12日企画展オープニング・イベント、黒田征太郎さんと描く“希望”

**第3回企画展**は、1月24日から3月22日まで、「ゴジラと第五福竜丸～想像力と現実」

・記念イベントとして1月25日トーク「ゴジラの想像力」（長沢秀之[武蔵野美術大学教授]、安田和也[学芸員]）35名参加

・関連イベントとして2月7日「X年後トーク」（伊東英朗[南海放送]、市田真理[学芸員]）50名参加

**60年記念コンサート** 10月26日ひびきあう第五福竜丸のしらべ Vol.5 新たな出航のコンサート ベートーベン・ピアノ協奏曲第4番ほか、林光一核なき世界へ ラッキードラゴン・クインテット（崔善愛+弦楽四重奏団）、『最後の武器』より—5つの歌（こんにやく座歌役者）

#### ウ 連続市民講座 「いま水爆の時代を問う 核と向き合い明日へ」

第五福竜丸平和協会と明治学院大学国際平和研究所の共催、世界平和アピール七人委員会の協賛で、明治学院大学白金校舎を会場にして行われた。各回の参加者数は第1回（4月20日）110名、第2回（6月14日）90名、第3回（7月19日）87名、第4回（9月6日）91名であった。

第1回 第五福竜丸被ばく・ビキニ事件をたどる、その国内的影響

<特別企画>被ばくと関わった科学者に聞く

■死の灰の分析にあたった池田長生さん

■俊鷲丸に乗船し環境放射線の測定にとりくんだ岡野眞治さん

- 1) ビキニ事件とマグロ～海洋汚染を考える  
水口 憲哉（資源維持研究所）
  - 2) 放射能雨と地球環境  
青山 道夫（福島大学環境放射能研究所教授）
- コーディネーター：奥山 修平（中央大学教授）

- 第2回 ビキニ事件、日米関係への影響
- 1) 公開外交文書に見る第五福竜丸被ばく・ビキニ事件の経緯と日米関係  
市田 真理 (第五福竜丸展示館学芸員)
  - 2) ビキニ事件の米政策への影響と日米関係  
太田 昌克 (共同通信編集委員)
  - 3) ビキニ事件と経済界の動向  
山本 義彦 (静岡大学名誉教授)

- 第3回 グローバル・フォールアウトと放射線被ばく
- 1) 水爆実験が与えた核開発者と市民への影響  
ロバート・ジェイコブス (広島市立大学広島平和研究所准教授)
  - 2) 米国の水爆開発、その実態と隠蔽の実相  
高橋 博子 (広島市立大学広島平和研究所講師)
  - 3) 世界の核実験による被ばく被害から  
振津 かつみ (医師・兵庫医大遺伝学助教)

コメント：樋口敏広 (京都大学)

コーディネーター：豊崎 博光 (フォトジャーナリスト)

- 第4回 核兵器と科学者、市民、被ばく者
- 1) ビキニ事件と科学者  
小沼 通二 (世界平和アピール七人委員会事務局長)
  - 2) 核実験と欧米市民・知識人～核開発への抑止  
樋口 敏広 (京都大学白眉センター特任助教)
  - 3) 核兵器のない世界への胎動～2015年NPT再検討会議へ  
川崎 哲 (ピースボート共同代表、核兵器廃絶国際キャンペーン[ICAN]国際運営委員)

### 3・1 ビキニ記念のつどい

2015年2月28日(土) 東京スポーツ文化館 参加者110名  
ドキュメンタリー映画「わたしの終わらない旅」上映とトーク  
坂田雅子監督と豊崎博光氏

## エ 巡回展等への協力

展示パネル・資料貸出などで下記の通り協力した。

- 4月 あきる野原水協（東京）  
三浦市職員労働組合（神奈川）  
茨城県原水協
- 5月 明治学院大学平和サークル
- 6月 茨城県母親大会  
焼津市
- 7月 西宮市原爆展（兵庫）  
東都生協平和のつどい（東京）  
岸和田市 非核平和資料展（大阪）  
浦安市公民館
- 8月 日本生協連虹のひろば（広島）  
串本町第五福竜丸展（和歌山）  
八尾市平和のための戦争展（大阪）  
はらんきょうの会 朗読会（茨城）  
平和人権教育と文化を考える会（千葉）  
杉並区役所  
杉並区被爆者の会  
杉並ピースフォーラム  
西東京市  
富士市平和のための戦争展  
春日部市平和フェスティバル（埼玉）  
三島市平和のための戦争展（静岡）  
平和のための埼玉の戦争展（埼玉）  
児玉房子ガラス絵展（静岡）  
照蓮寺（愛知）
- 9月 日本福祉大学附属高校（愛知）
- 10月 知徳高校（静岡）  
東京工業大学西脇安展（東京）
- 11月 石巻平和のつどい（宮城）
- 2月 板橋区母親大会（東京）
- 3月 枚方市平和展（大阪）

## オ 普及・広報活動

### 主なメディアでの報道

#### ■映像

- 7月23日 BS11 報道ライブ 21 「ゴジラが伝えてきたもの」  
8月4日 NHK（静岡）3000通の手紙が語るビキニ事件  
8月6日 NHK（広島）水爆実験 60年目の真実  
8月10日 日本テレビ NNN ドキュメント「続・放射線を浴びた X 年後」  
9月23日 NHK（静岡）645 ニュース「ビキニ被爆 久保山さんの命日・学芸員の想い」  
11月2日 日本テレビ NNN ドキュメント「放射線を浴びた X 年後 3」

#### GODIZILLA アメリカ版 DVD 特典映像

2015年3月劇映画「セシウムと少女」完成。昨年8月に展示館で撮影。

#### ■新聞

- 4月6日 毎日小学生新聞 特集「ビキニ事件 60年知られていない被ばくの実態」  
5月9日 都政新報「伝えることの意義」  
11月26~30日 神奈川新聞 連載「ビキニ被ばく 60年 第三部 伝え継ぐ」  
9月30日 読売新聞 ミュージアムへ行こう  
9月2日 東京新聞 小沼通二さん（市民講座紹介）  
12月26日 山梨日日新聞 「死の灰」の教訓語り継ぐ  
2月25日 東京新聞 核に奪われた歴史たどる旅 坂田雅子さんインタビュー  
3月1日 東京新聞 核なき未来を語る（3・1ビキニ記念のつどい）  
3月1日 朝日新聞（大阪本社版）核といのちを考える「ビキニ 私の船もいた」

#### ■関連記事

『第五福竜丸は航海中』の出版が、ミニコミや SNS 等でも紹介された。

厚労省資料開示（9月19日）、水産庁資料開示（2月20日）多数の媒体で報道された。

3月16日、高知県による、ビキニ周辺海域で操業していた漁業者と遺族の健康相談会開催に関して、高知県内メディア等が多数報道した。

### 事務局の協力

#### ■安田和也氏の講演・授業等

4月13日	名古屋市九条の会
8月6日	新潟県生協連平和のつどい
8月17日	西東京市平和のつどい
10月25日	さいたま市常泉寺に灯をともし会
11月13日	静岡県生協被ばく60年学習会
2月20日	北海道3・1集会
3月1日	枚方市平和の日のつどい

#### ■市田真理氏の講演・授業等

5月30日	和光中学校（大石又七さんのサポート）
6月15日	石川県反核医師の会核兵器廃絶国際行動デー
7月21日	愛知サマーセミナー
7月27日	春日部市平和フェス(大石又七さんのサポート)
8月3日	日本母親大会
8月6日	大分県教組 平和のつどい
9月27日	杉並区被爆者と区民交流セミナー（大石又七さんのサポート）
1月23日	三輪田学園（大石又七さんのサポート）
2月15日	江戸川母親大会

### 恒例諸行事

・4月5日に「お花見平和のつどい」が開催され120人が参加した。

・久保山愛吉さんの命日9月23日には久保山忌句会（第34回）、東京原水協「第五福竜丸のつどい」（第28回）、「平和を語る第五福竜丸の集い」（第22回）等の行事で終日にぎわった。175人が参加した。



2. その他の事業（出版など）

- ・『第五福竜丸は航海中 ビキニ水爆被災事件と被ばく漁船60年の記録』（公益財団法人第五福竜丸平和協会 編・2014年3月発行）の普及
- ・貸出用展示パネル（20枚組）3セットを新たに制作
- ・写真記録『原発・核の時代～核開発の果にあるもの』豊崎博光（専門委員）、2014年5月25日（日本図書センター）
- ・『ビキニ事件の現代史』所収、山本義彦（理事）論文「第五福竜丸事件の政治経済学」2014年5月30日（現代資料出版）
- ・『ビキニ事件の立証—60年ぶりに開示された政府公文書を解く—』山下正寿（専門委員）、2015年3月1日（太平洋核被災支援センター）
- ・『マーシャル諸島—終わりなき核被害を生きる』竹峰誠一郎（専門委員）2015年3月10日（新泉社）

3. 法人の管理運営

当年度に、以下の通り諸会議を開催した。

2014年5月11日	理事会
2014年5月18日	定時評議員会
2015年3月15日	理事会

賛助会員等の異動は下表の通りである。

	2014.4.1	2015.3.31	
賛助会員 個人	354	354	4増4減
団体	59	57	2増4減

	2014.4.1	2015.3.31	
ニュース購読会員	73	76	3増